

急変対応コース

研修目的	患者の状態変化・急変の気づきにより、急変対応の質向上を図る		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急変時の看護の特徴、役割がわかる 2. 急変患者の初期評価、対応ができる 3. フィジカルアセスメントを用いて急変患者の全身状態を観察できる 4. 観察結果をアセスメントし、報告できる 		
受講対象	クリニカルラダーレベルⅡ以上の者 【定員 20 名】		
開催日 開催場所	ねらい	内容	講師
第 1 回	急変の前兆を知ることができ、急変時看護の違いがわかる	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・急変の前兆、RRS の役割 ・急変時医療と看護の特徴 ・急変時の看護師の役割 ・急変時の報告方法 (ISBARC) ・急変時の初期評価 (ABCDE アプローチ) と対応 ・入院病態からの合併症予測 (予防・予測・急変予防を含めた看護介入) <small>院内急変症例を使用したグループワーク含む</small>	救急看護認定看護師
第 2 回	急変の前兆、初期評価と対応がわかる	<ul style="list-style-type: none"> ・挿管準備、介助 ・ショック ・輸液管理 ・輸血管理 ・緊急処置に合わせた関わり (手術、IVR、内視鏡など) ・DNAR について ・家族対応 <small>院内急変症例を使用したグループワーク含む</small>	救急看護認定看護師
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・コース終了時、最終課題を実施することもあります。 ・各回に小児の内容も含まれます。 ・グループワークはペーパーシミュレーションおよび実技シミュレーション含みます。 ・実際に物を触り、実演をしながら進める項目もあります。 		